

## 《やまがた地鶏・農畜産物販売店舗展開プロジェクト》

市町村	鶴岡市	対象地域	羽黒地域	分野	農林水産物の加工・直接販売(畜産)
実施主体名	(わんぱく農場) 松浦 眞紀子	代表者氏名		住所又は主たる事務所の所在地・連絡先	鶴岡市
実施主体構成	個人				

プロジェクト 目標(5年後)	産出額(増加額)	36,000千円(36,000千円)					
	独自の目標項目	やまがた地鶏の年間出荷羽数 2,000羽					
各年次目標	現 状	1年目(H21)	2年目(H22)	3年目(H23)	4年目(H24)	最終年(H25)	
	産出額	0千円	5,000千円	21,600千円	25,200千円	28,800千円	36,000千円
	独自の 目標項目	やまがた地鶏 年間出荷羽数	羽	250羽	500羽	1,000羽	2,000羽
プロジェクト 概要	◎実施方針	平成6年より鶏を飼い始め、次第に飼育数を増加。平成15年には羽黒町で就農、認定農業者となり、「わんぱく農場」を開設。自然に近い飼育方法で育てた当農場の鶏卵は、「わんぱく卵」として知名度も高まっている。平成20年度、農場内に鶏の解体処理施設を整備し、従来他社に委託していた解体処理を当農場で対応可となった。今後、卵の販売に加え、当農場(養鶏場)で生産する鶏肉、卵、野菜など農産物を惣菜として加工・販売し、付加価値増を目指す。また、平成22年度以降、当農場で「やまがた地鶏」を導入し、その生産、加工、販売の拠点とする。					
	○産出額の増大	従来の卵の販売に加え、地元の野菜等を活用し惣菜をつくとともに販売する。					
	○雇用の創出	平成25年の雇用人数 4人/日 (店舗は360日程営業。常時2名を配置する為、交代要員を含む)					
	○創意工夫	鶴岡市では、生産者が畜産物を加工・販売する例は少なく、安全安心を求める消費者にとって魅力をアピールしやすい。また、県内の料亭等からも、安全安心な鶏肉への要望も高く、消費者向けの惣菜と実需向けの鶏肉の加工などを適宜組み合わせることで、多様な販売チャンネルを確立できる。					
	○実現性	当農場内に解体処理施設が整備されたことから、安全安心を確保できる一環体制が整った。さらに、惣菜加工・販売を行うことで、収益拡大が期待できる。また、鶴岡市内で10年程前より飲食店を開店しており、惣菜関係のノウハウを十分に有している。					
	○地域への波及効果	当農場が畜産物の生産から加工、販売のビジネスモデルとなるとともに、周辺の生産者と連携することで、「やまがた地鶏」の飼育の輪が地域に広がるのが期待できる。					
○その他	農場名で直接消費者に販売することで、消費者との信頼関係を構築し、ブランド力を高めることができる。						

		実施年度(平成21年度)	実施年度(平成23年度)
事業内容		①農畜産物の加工直販施設(店舗)	②農畜産物の加工直販施設(増設分)